

中央・新旭川地域における補助事業について (R3年度 実績報告)

- 「知新っ子見守り事業」
(実施主体～知新っ子を見守る会)
- 「地域の居場所づくり推進事業」
(実施主体～地域の居場所づくり推進委員会)

地域まちづくり推進事業実施報告書

1 事業実施者	団 体 名 知新っ子を見守る会
2 事業の名称	知新っ子見守り事業
3 実施期間	令和3年12月21日 から 令和4年3月29日まで
4 事業内容	<p>○ 目的</p> <p>旭川市立知新小学校に通学する児童等（以下「知新っ子」という。）と、主に高齢者を中心とした地域住民及び地域外の協力者（以下「住民等」という。）による世代間交流を通じ、学習支援や交流等のための憩いの場等を提供するとともに、地域の安心安全に寄与する各種事業を実施することを目的に「知新っ子を見守る会」を組織し、地域内での世代間の交流、連携や福祉の向上を図る。</p> <p>○ 令和3年度の取組</p> <p>令和3年度は、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症対策に留意しながらも、交流機会を増やしながらかつ啓発事業や居場所づくりを中心に次の取組を実施した。</p> <p>1 「知新っ子交通安全見守り運動」の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策に留意しながら、交通安全の啓発事業を学校と連携した取組を、地域住民がサポートした。 <p>(1) 時 期 通年実施</p> <p>(2) 場 所 知新小学校周辺（通学路の交差点を中心に）ほか</p> <p>(3) 内 容</p> <p>ア 通学路での、交通安全の見守り活動及びのぼり旗の掲揚</p> <p>イ 知新っ子による交通安全標語コンクールの実施</p> <p>ウ 上記イの優秀作品を掲載した交通安全啓発資材の配付</p> <p>【新型コロナウイルス感染症対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通安全の見守り活動及びのぼり旗の掲示～人的接触がない取組 ・交通安全資材の配付～学校で配付し、新規の人的接触を避ける。 <p>資材にマスクを添付することで、感染症防止の周知にも活用した。</p> <p>2 「冬を楽しむ会」の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策により、室内にこもりがちな知新っ子及び住民等が、共通の目的を通じ、感染症予防に留意しながら屋外活動を行うことにより、健康増進と地域の一体感の醸成を図ることを目的に「冬を楽しむ会」を開催した。 <p>(1) 日 時 令和4年2月6日（日）午前10時から</p> <p>(2) 場 所 知新小学校 校舎前通路ほか</p> <p>(3) 内 容 ミニ雪像（雪だるま、ペンギン（大・小））の制作、展示</p> <p>(4) 特 徴</p> <p>ア 「旭川冬まつり」の「みんなの冬 2022」に参加した。</p>

	<p>イ 昨年度同様、各児童宅、地域住民宅においてもキャンドルを配付し、個別に雪だるまを制作し、地域内を飾り付けた。</p> <p>※ 感染症拡大のため、銀座通会場での制作を中止した。</p> <p>【新型コロナウイルス感染症対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雪像作りは、学校敷地内に限定し参加者も制限するとともに、児童と地域住民による雪像の飾りづくりを感染対策を実施した上で、取り組むことにより、役割分担で感染防止を明確にした。 <p>ア 会 場 マンション集会場 2カ所</p> <p>イ 参加者 高齢者を中心とした地域住民</p>
<p>5 成果と課題</p>	<p>[成果]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 新型コロナウイルス感染症対策としての交通安全資材の配付の更なる展開 <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度も交通安全啓発資材として、マスクセット付きの交通安全のチラシを知新っ子全員に配付したが、令和3年度は、児童の交通安全標語を募集し、全校的に交通安全の意識を高めた上で、その優秀作品をチラシに掲載する取組を実施した。これにより、児童の交通安全意識の向上を図ることができるとともに、学校の新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策の支援をすることができた。 2 地域住民への取組の周知 <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でありながら、地域住民が積極的に学校での取組に理解を示すことが多くなり、地域と学校との一体感を醸成が進んでいる。 <p>[課題と方向性]</p> <p>※ 「ウィズ・コロナ（コロナ禍とともに共生する）」社会であることを前提とした取組を進めることができたが、その一方で、取組が見送られた各種事業について、再開に向けて感染症対策に配慮した開催方法の検討を進める必要がある。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学習支援サポート（再開を検討） <ul style="list-style-type: none"> ・夏期休業中の実施を見据えた適正な募集期間の検討 ・地域住民等の参加募集の期間延長、支援する科目の追加 2 自由研究教室（再開を検討） <ul style="list-style-type: none"> ・夏期休業中の実施を見据えた適正な募集期間の検討 ・自由研究のメニューの検討（追加等） ・地域住民が講師となるための事前準備期間の検討 3 冬を楽しむ会（再開を検討） <ul style="list-style-type: none"> ・適正な募集期間の検討 ・地域住民等（特に高齢者）が児童等を触れ合えるようなメニューの検討 ・豚汁試食にかわるふれあいの時間の検討（メニューの再編を含む） ・学生の参画する場面を増やし、事業実施のリーダーの育成 4 その他、新規検討事項 <ul style="list-style-type: none"> ・夏期休業中の地域交流事業の検討（夏を楽しむ会の実施） ・通常期の学習支援及び児童の居場所づくりの検討 ・地域の安心・安全に関わる取組の継続実施（見守り活動等）

地域まちづくり推進事業実施報告書

1 事業実施者	団 体 名	地域の居場所づくり推進委員会
2 事業の名称	地域の居場所づくり推進事業	
3 実施期間	令和3年12月27日 から 令和4年3月29日まで	
4 事業内容	<p>○ 目的</p> <p>「他人事」になりがちな地域住民が、高齢者等の支援を「我が事」として取り組み、互いに役割を持ち、支え合いながら、相互に自分らしく活躍できる居場所づくりを推進する。</p> <p>○ 令和3年度の取組</p> <p>地域活動への積極的な支援を行うことにより、地域の担い手を育成し、地域住民の「居場所」づくりを推進するため、次の取組を実施した。</p> <p>1 「旭新おたすけ隊」の活動への支援</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者に対するボランティア活動は、生活を支えるための必要な活動であるため、隊員に対する感染症予防対策として衛生物品を提供し、依頼者、担い手の双方が安心して活動ができる体制を整えるとともに、活動に必要な物品もあわせて提供した。 <p>【主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症予防物品（マスク、フェイスシールド、手袋、消毒液、二酸化炭素濃度測定器等）を隊員に支給し、活動を安全で安心して取り組める環境を整えた。 <p>2 活動報告会（まちづくりフォーラム in 新旭川）の開催検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新旭川地域で実施された取組を、広く地域住民に紹介し、取組の拡大を図ることを目的に、実践内容を報告する場の開催を検討した。 <p>※ 新型コロナウイルス感染拡大に伴うまん延防止等重点措置の適用により、開催を延期し、次年度当初に開催することとなった。</p> <p>【開催概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日 時 令和4年4月10日（日）午後2時から ・会 場 新旭川地区センター（旭川市東6条4丁目） ・内 容 基調講演、意見交換等 <p>3 児童・生徒の登校時の見守り活動の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の「居場所」となる活動として、地区内の3つの小学校周辺で、教職員と連携しながら、登校時の見守り活動を行った。 <p>【令和3年度実績】（参加者数 30名（延べ360名））</p> <p>(1) 東五条小分</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 実施時期 各月の初めの1日間 イ 実施個所 旭川市東4条6丁目（五叉路交差点）付近ほか4カ所 	

	<p>(2) 新富小学校分 ア 実施時期 各月初め頃の1日間 イ 実施場所 旭川市新富2条2丁目（押しボタン式信号機）付近ほか3カ所</p> <p>(3) 正和小学校分 ア 実施時期 毎月15日と前後1日間 イ 実施場所 旭川市大雪通8丁目（国道39号，押しボタン式信号機）付近ほか1カ所</p> <p>[(1)~(3)共通] ア 実施時間 午前7時から午前8時15分頃まで イ 実施内容 ア) 交差点付近での安全確保及びのぼり旗の掲揚 イ) 横断歩道における横断旗による誘導 ウ) 児童等との挨拶の励行</p> <p>※ その他，地区の巡視活動，不審者情報の呼びかけと啓蒙活動，警察や学校と連携し，不審者情報の提供と注意喚起と巡視活動を実施した。</p> <p>[活動を中止した取組] 新型コロナウイルス感染拡大に伴うまん延防止等重点措置の適用により，実施計画で予定していた「みんなの冬 2022」への参加を中止した。</p>
<p>5 成果と課題</p>	<p>[成果]</p> <ol style="list-style-type: none"> 「旭新おたすけ隊」の事業メニューの継続実施と定着化 通年の取組（買物支援，除雪支援等）が，地域の高齢者に評価されていた取組を，継続的に支援をすることができた。 活動報告会（まちづくりフォーラム in 新旭川の再開に向けた方向性の提示 新型コロナウイルス感染拡大に伴い開催が延期されていたフォーラムの再開に向けての検討を進めることができた。 地域住民の新たな「居場所」の提供 学校と連携した見守り活動を実施することにより，室内にこもりがちな高齢者を中心とした地域住民の新たな居場所を提供することができた。 <p>[課題と方向性]</p> <ol style="list-style-type: none"> 町内会による活動格差の解消 担い手の確保による町内会間の格差を解消するため，地区内での連携等の仕組みづくりを検討する。 現役世代を担い手とするための施策の検討 「難しい」，「時間が必要」といった負のイメージから参加を敬遠している現役世代に対し，手軽に参加できる地域課題解決のための取組の意義を伝えるためのイベント，研修会等の実施を検討する。 事業実施に必要な財源の自立化 補助金，負担金等に頼らず，地域内で財源を確保することにより，事業の自立化を図り，永続的な取組とする。（地域内の事業者，企業等に対する取組への参画，協力の働きかけの実施。）
<p>6 その他</p>	<p>・事業計画書に示した事業内容のうち，「活動報告会（まちづくりフォーラム in 新旭川）」については，新型コロナウイルス感染症のまん延防止等重点措置の解除後の日程での開催を計画し，準備を進めていた。</p> <p>しかし，その後の急激な感染拡大に伴い，やむを得ず事業の中止を判断することとなり，準備のためすでに購入した機材等は，新年度の早々（令和4年4月10日（日曜日）開催）の開催の際に活用するものである。</p>

まちづくりフォーラム in 新旭川

～ 地域課題を解決しよう！地域の力で！～

子どもからお年寄りまで、誰もが住み慣れた地域で暮らし続けられるために、様々な世帯の現状を知り、新旭川地域を振り返りながら、自分達の地域について意見交換を行います。自分達の地域は自分達で守るために！

主催/ 地域居場所づくり推進委員会

日時 令和4年3月20日(日) 14時～

場所 新旭川地区センター (旭川市東6条4丁目)

新旭川地域にお住まいの方

限定

お問い合わせ先

新旭川・永山南地域包括支援センター
FAX: 0166-40-3008

地域の活動

旭新おたすけ隊 (ゴミ投げ・除雪・買物支援)

世代間交流

ぶらっとカフェ

プログラム

14:00 開会 (受付13:30～)

14:05 基調講演

○新型コロナウイルスに関する

アンケート実施と結果から見た高齢者世帯の現状

新旭川・永山南地域包括支援センター

福原 一隆 (社会福祉士)

14:30 ○「改めて、新旭川地域を振り返る」

・地域居場所づくり推進委員会って何？

新旭川・永山南地域包括支援センター

センター長 田中 誠康 (社会福祉士)

・第2層協議体って何？

旭川市社会福祉協議会 地域共生課

第2層生活支援コーディネーター 藤井 大介

15:15 休憩

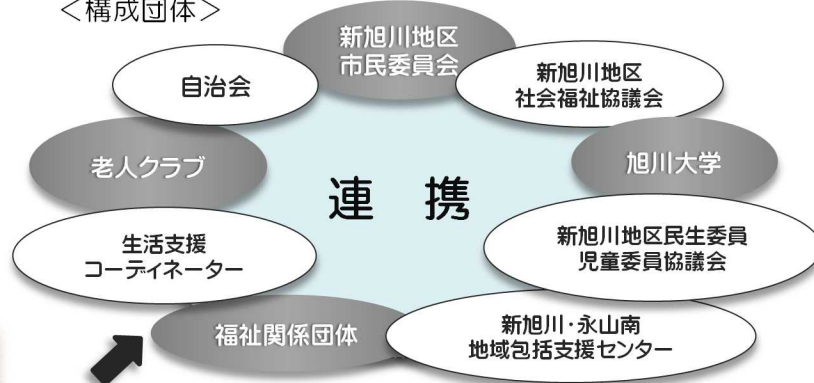
15:25 ○自分達の地域 (町内) で課題と思うことは何ですか？

16:00 閉会

地域居場所づくり推進委員会とは？

新旭川地区の各団体が連携して網目をつくり、子どもからお年寄りまで、誰もが住みやすい新旭川を目指して活動しています。

<構成団体>



中央・新旭川
まちづくり推進協議会

…地域で活動する様々な団体や
住民をつなぐネットワークを後方支援

【お問合せ】

新旭川・永山南地域包括支援センター (田中・福原・蔭山) 40-3003